

E26系 NV350 プレミアムGX標準専用 ベースバー取付説明書



この度は、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。製品の仕様につきましては、十分に気を付けておりますが、誤った使い方をしますと本来の性能を十分に発揮できなったり、事故やケガの原因となる可能性があります。ご使用前に取付説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見ることできるように、大切に保管してください。

この取付説明書は、オプションパーツを装着するために必要なベースバーの取付説明書になります。オプションパーツの組み立ての前に必ずこちらの取付説明書を読み、ベースバーを取り付けた後に、同梱のオプションパーツの取扱説明書を参照して取付作業を進めてください。

適合車種	年式
E26系NV350 プレミアムGX標準	2012.6~

※2019年12月現在

※本製品はE26系 NV350 プレミアムGX標準専用です。

他の取付穴や他のグレードには取り付けできません。適合車種は左記を確認してください。

※本製品の取り付けには、専門知識が必要です。無理な取り付けは避け、カーディーラーまたはカー用品専門店等へ依頼してください。その際の工賃・その他費用請求はお受けできません。万一、本製品の不具合発生等で取り付け・取りはずし等が必要になった場合も同様です。自分で作業を行なう場合は自己責任で行なってください。

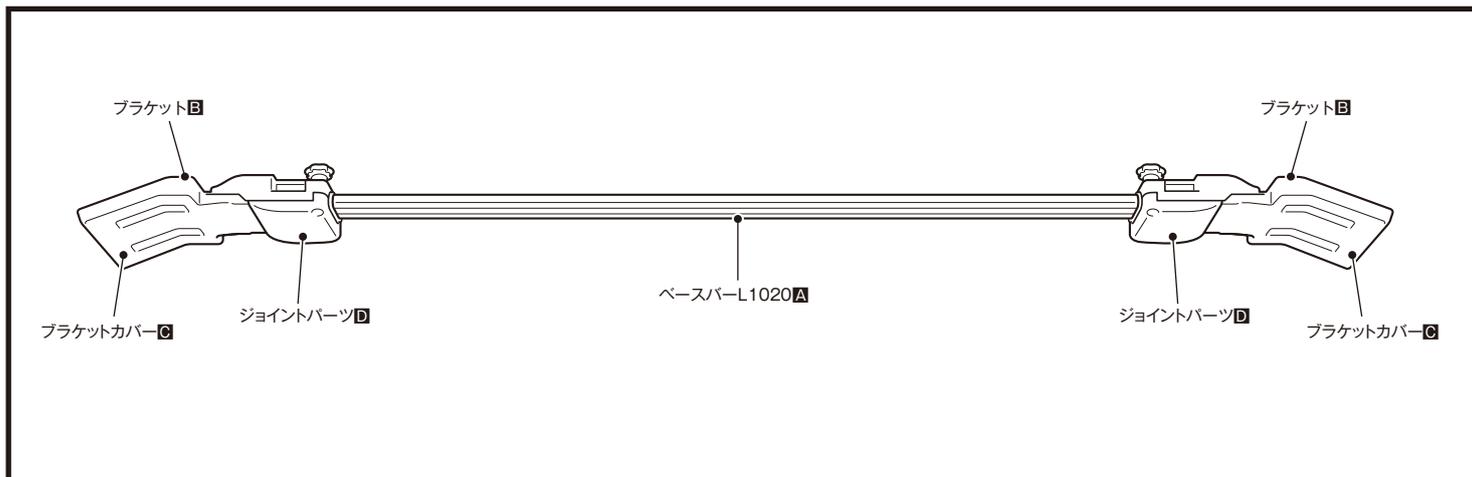
※必ず安全な場所に停車して作業を行なってください。

※取り付け前にすべての部品が揃っているか確認してから取付作業を行なってください。

1. 部品内容

A	ベースバー-L1020	B	ブラケット	C	ブラケットカバー
D	ジョイントパーツ	E	セムス小ネジ (M6×15)	F	セムス小ネジ (M5×15)

2. 取付概要



3. 必要工具 別途ご用意ください。

※必要な道具の使用法や注意事項を必ず確認して使用してください。

・プラスドライバー ・マイナスドライバー(クリップはずし) ・マスキングテープ ・養生テープ

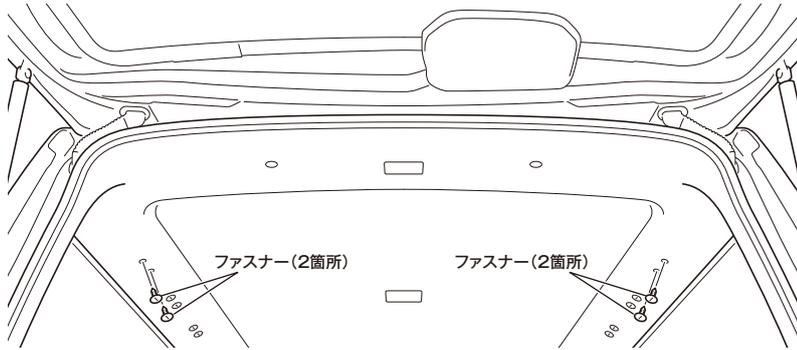


・ネジ穴や車両側が破損する場合がありますので電動ドライバーを使用してのネジ締めはしないでください。

注意

4. 取付方法

1 ルーフライニング(天井内装)のファスナーを取りはずします。



①車両後方のファスナーをマイナスドライバー(またはコイン)等で取りはずします。(4箇所)

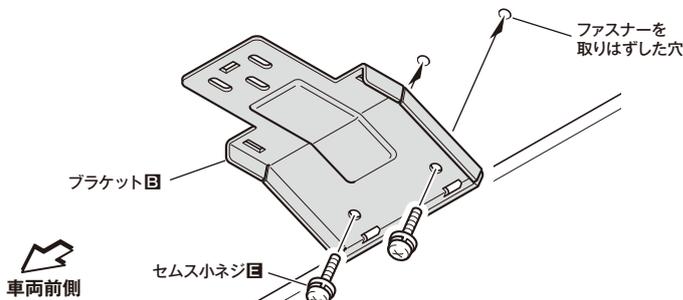
※傷付き防止のため、要所を養生テープで保護してください。

※ファスナーは左に回して取りはずしてください。

※取りはずしたファスナーは使用しませんので、紛失しないように保管してください。

②～③の工程は右側の説明をしています。反対側も同様に作業してください。

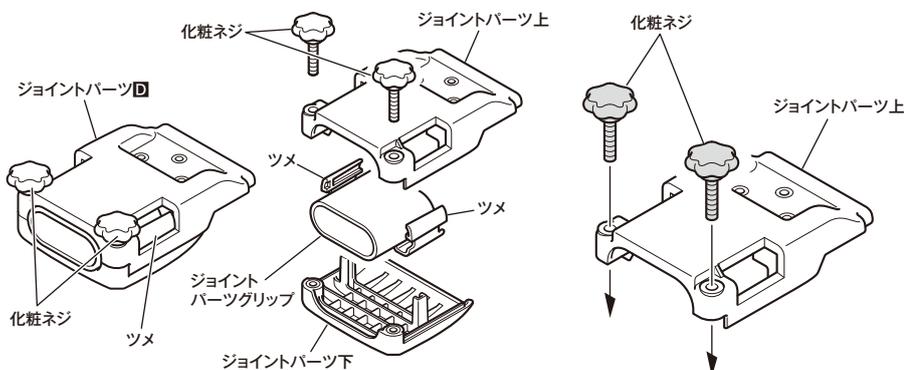
2 ブラケット回を取り付けます。



①ブラケット回を、ファスナーの取りはずした穴にセムス小ネジ回で取り付けます。プラスドライバーでしっかりと締めて固定してください(2箇所)。(反対側も同じ)

※傷付き防止のため、要所を養生テープで保護してください。

3 ジョイントパーツ回をブラケット回に固定します。

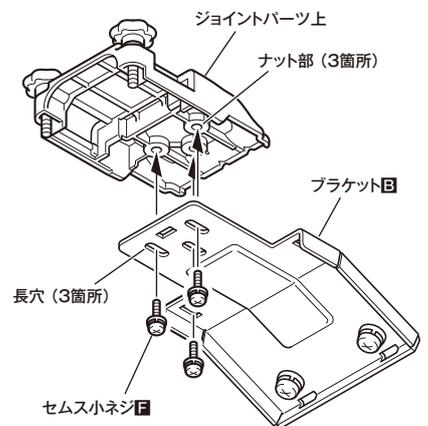


①ジョイントパーツ回から化粧ネジをはずしてパーツを別々にします。

※ジョイントパーツクリップはツメを押し込むと取りはずすことができます。

②ジョイントパーツ上に化粧ネジを挿し込みます。

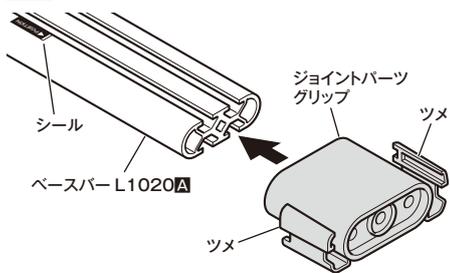
⚠ 後の工程では、化粧ネジを取り付けできなくなります。挿し込み忘れのないよう注意してください。



③ジョイントパーツ上の3箇所のナット部とブラケット回の3箇所の長穴を合わせてセムス小ネジ回を挿し込み、プラスドライバーで仮固定します。(反対側も同じ)

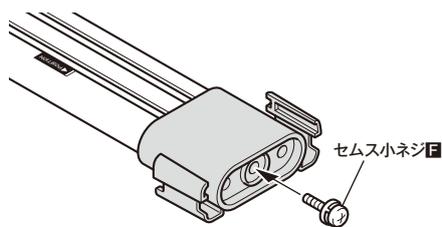
※後の工程で位置調節しますので、セムス小ネジが落ちない程度までにしてください。

4 ベースバーL1020Aの両端にジョイントパーツグリップを固定します。

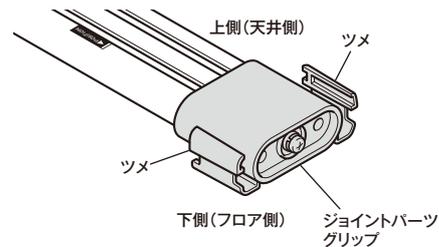


① ツメの向きを両端とも合わせ、ジョイントパーツグリップをベースバーL1020Aにかぶせます。

※ベースバーL1020Aのシール側にツメ側を合わせます。



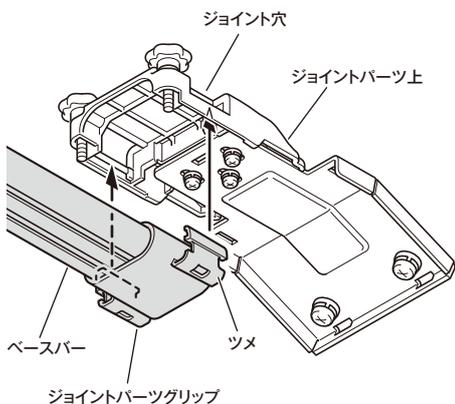
② セムス小ネジを挿し込みプラスドライバーで最後までしっかりと締めて固定します。



③ 両端とも固定し、ツメの向きが合っているか再度確認してください。

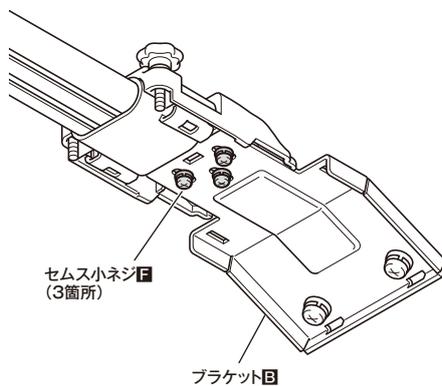
※ブラケットに取り付けの際、ツメ側が上側(天井側)になります。

5 4で組み付けたベースバーを2~3で組み付けたブラケット回に取り付けます。

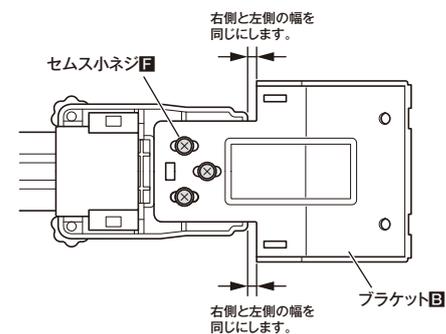


① 左右のジョイントパーツ上のジョイント穴にベースバー両端のジョイントパーツグリップ(向きに注意します。【取付方法4-③参照】)のツメを合わせてカチッとロックが掛かるまではめ込みます。

注意 手や指を挟まないように注意してください。



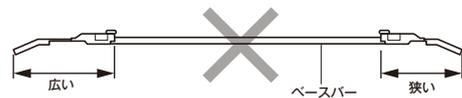
② 左右のブラケット回に対してベースバーの位置が中心にくるように調節し、仮固定していたセムス小ネジ(3箇所)をプラスドライバーで最後までしっかりと締めて固定します。



左右のブラケットに対してベースバーが中心にきている

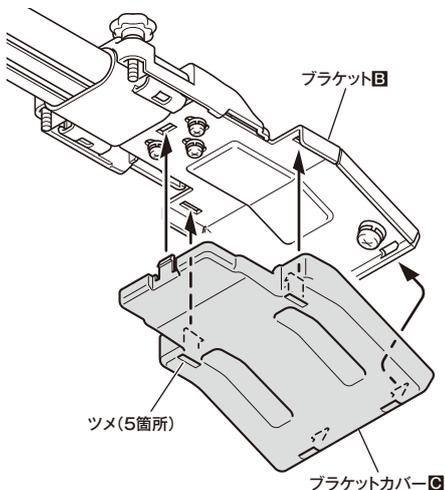


左右のブラケットに対してベースバーが中心ではない



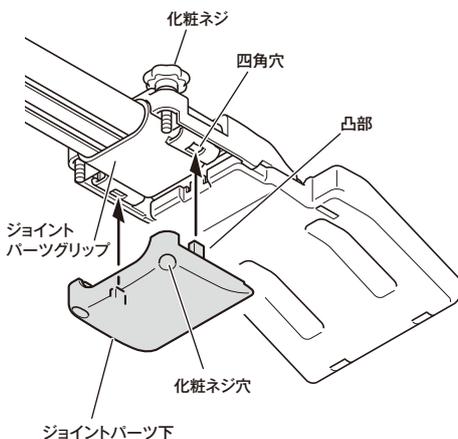
※ブラケットの長穴に対するセムス小ネジの位置を左右で均等にすると目安になります。

6 ブラケットカバーをブラケットにかぶせます。



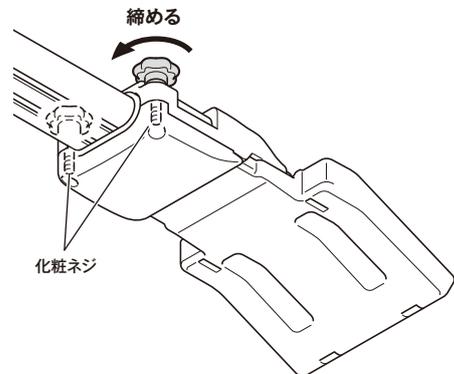
① ブラケットカバーのツメ(5箇所)を指で押し、パチッとブラケット回にはめ込みます。

※ツメが掛かる場所をしっかりと押し込んでください。



② ジョイントパーツ下を化粧ネジと化粧ネジ穴位置・四角穴と凸部の位置を合わせ、下からはめ込みます。

※ジョイントパーツ下はジョイントパーツグリップの落下防止になっていますので、必ず取り付けてください。
※ジョイントパーツ下を取り付けられない状態で走行しないでください。



③ 化粧ネジを締めて固定します。

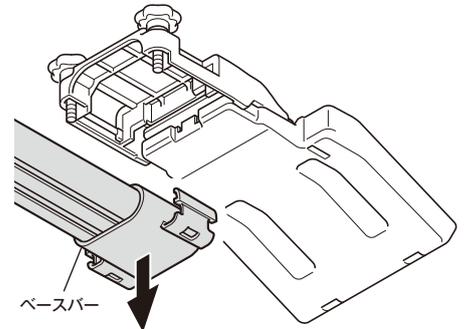
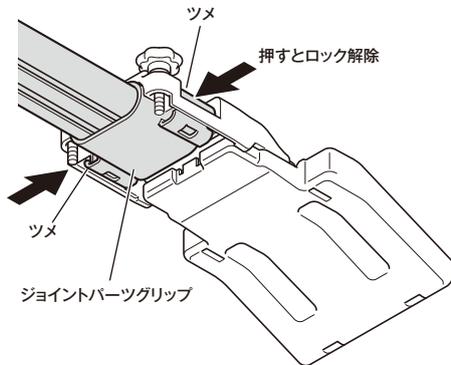
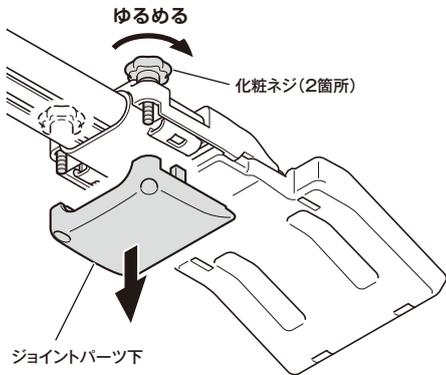
5. ベースバー脱着方法

ここでは右側の説明をしています。反対側も同様に作業してください。

取りはずし方法



・手や指を挟まないように注意してください。
・ベースバーを落とさないようにしっかりと手で持ちながら、取りはずしてください。



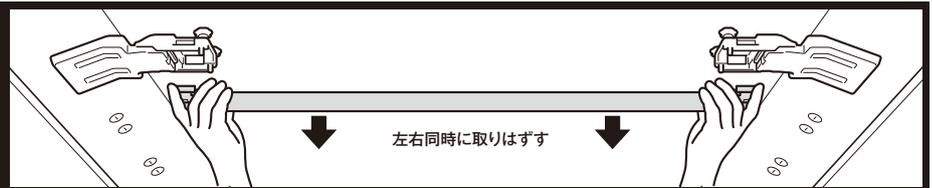
①化粧ネジをゆるめ、ジョイントパーツ下を取りはずします。(反対側も同じ)

②ベースバー両端のジョイントパーツグリップのツメを押してロックを解除し、ベースバーを取りはずします。

※ベースバーを取りはずした後、①で取りはずしたジョイントパーツ下を元に戻してください。

ベースバー取りはずしイメージ

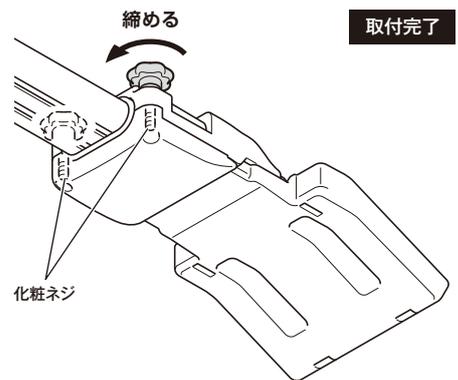
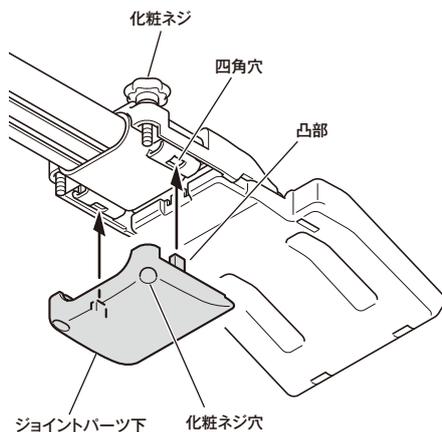
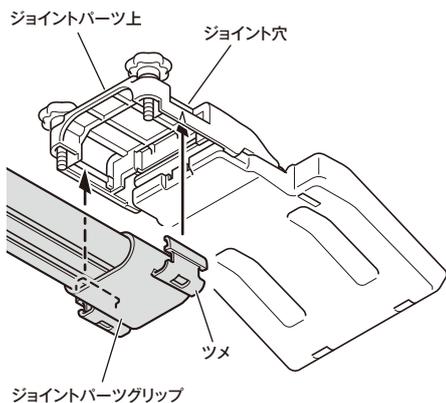
図のように両手でベースバーを支えて、ツメを押しながら取りはずすと簡単に取りはずせます。



取付方法



・手や指を挟まないように注意してください。
・ベースバーを落とさないようにしっかりと手で持ちながら、取り付けてください。

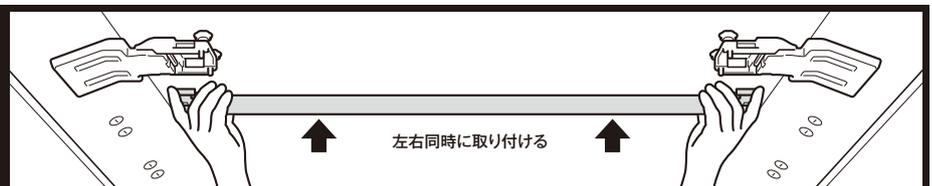


①ジョイントパーツ下がはずれている状態で、ベースバーを持ち上げ、左右のジョイントパーツ上のジョイント穴にベースバー両端のジョイントパーツグリップのツメを合わせてカチッとロックが掛かるまではめ込みます。

②ジョイントパーツ下を化粧ネジと化粧ネジ穴位置・四角穴と凸部の位置を合わせ、下からはめ込みます。化粧ネジを締めて固定します。(反対側も同じ)

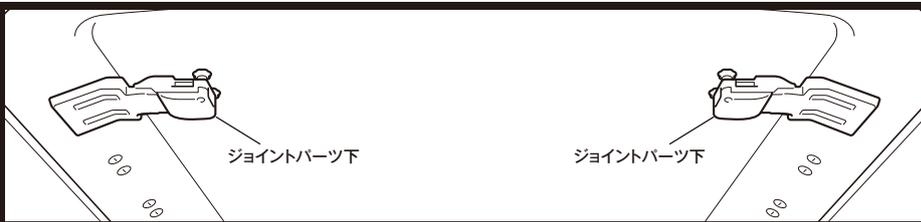
ベースバー取付イメージ

図のように両手でベースバーを持ち上げ、ジョイントパーツ上を押さえながらツメをはめると、簡単に取付けます。





ベースバーやオプションパーツの
取り付けをしない時は、必ずジョイント
パーツ下を取り付けてください。



6. お手入れ方法

・本製品が汚れた場合は、水を含ませて固く絞った布で拭いてください。



・ベンジン・シンナー・アルコール・塩素系の溶剤類を使用してお手入れはおやめください。

注意

ベースバー取付完了イメージ

※走行する度に、ネジのゆるみがないか確認してください。ゆるんでいる場合は増し締めしてください。



⚠ 警告 ご使用前に必ずお読みください。

- ・走行前に必ず、各固定箇所のゆるみがないか等、ベースバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- ・走行中、安全のため絶対に本製品の脱着等はしないでください。

⚠ 注意 ご使用前に必ずお読みください。

- ・用途以外の目的で使用しないでください。
- ・本製品は金属を使用していますので、炎天下の車内の熱等により、金属部分が熱くなる場合があります。
- ・取りはずしたファスナー(4個)は幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ・ベースバーにぶら下がったり、無理な力を加えたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・振動により、ベースバーの固定がゆるむ場合があります。乗車の度にしっかりと固定されているか確認してください。
- ・本製品は天井のハウジング(内装)に直接固定する商品です。取りはずした後に車両側に変形・損傷・取付跡が残る場合があります。
- ・走行中異常があった場合はただちに使用を中止してください。
- ・本製品には鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。
- ・使用状況や経年変化等により本製品に変色・変形・劣化等が発生する場合があります。



樫屋ヤッコ 株式会社

〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地
TEL 0564-24-2421・FAX 0564-24-2827
URL <http://www.yacjp.co.jp>

商品に関するお問い合わせ先
▶お客様相談室 0564-66-0773(直通)
土日祝・特定日除く 9:30~12:00/13:00~17:30

U-CA1B E26系 NV350 プレミアムGX標準専用

サイクルスタンド取扱説明書



この度は、VISOA シリーズ「サイクルスタンド」をお買い上げいただきましてありがとうございます。製品の仕様につきましては、十分に気を付けておりますが、誤った使い方をしますと本来の性能を十分に発揮できなったり、事故やケガの原因となる可能性があります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見ることでできるように、大切に保管してください。

この取扱説明書は、サイクルスタンドの取扱説明書になります。ベースバーの組付方法は同梱のベースバー取付説明書を読み、必ずベースバーを装着した後に、サイクルスタンドの取付作業を進めてください。

※本製品はスポーツバイク専用です。重量のある街乗り用自転車、タンDEM自転車、電動自転車等には対応していません。

※本製品にスポーツバイクを積載する際は、フロントホイールを取りはずします。

※フロントフォークを装着する付属のフロントベースは9mmクイック式フォーク用になります。

※本製品の取り扱いには、専門知識が必要です。無理な取り扱いは避け、カーディーラーまたはカー用品専門店等へ依頼してください。

その際の工賃・その他費用請求はお受けできません。万一、本製品の不具合発生等で取り付け・取りはずし等が必要になった場合も同様です。

自分で作業を行なう場合は自己責任で行なってください。

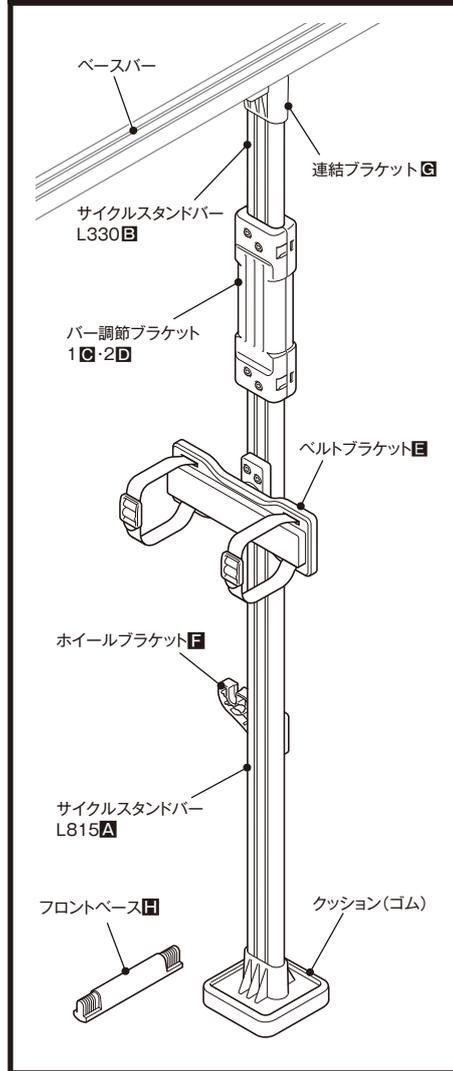
※必ず安全な場所に停車して作業を行なってください。

※取り付け前に全ての部品が揃っているか確認してから取付作業を行なってください。

1. 部品内容

A サイクルスタンドバー-L815 	B サイクルスタンドバー-L330 	C バー調節ブラケット1 <p>※ロゴが印刷されている</p>
D バー調節ブラケット2 <p>※ツメがついている</p>	E ベルトブラケット 	F ホイールブラケット
G 連結ブラケット 	H フロントベース 	I レール用ナット <p>14個</p>
J キャップボルト (M5×12) <p>14個</p>	K 六角レンチ (M5用) 	

2. 取付概要



3. 必要工具 別途ご用意ください。

※必要な道具の使用方法や注意事項を必ず確認して使用してください。

・プラスドライバー ・六角レンチ(付属) ・養生テープ ・保護メガネ ・保護手袋等

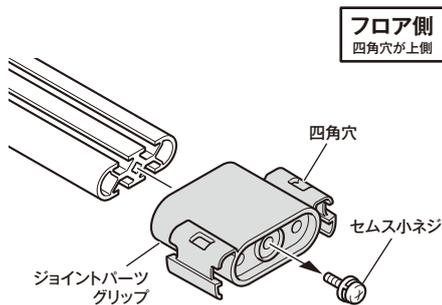
 ・ネジ穴や車両側が破損する場合がありますので電動ドライバーを使用してのネジ締めはしないでください。
注 意

4. 取付方法

※取付作業時、スポーツバイク積載時は、必ずサードシートを収納し、セカンドシートを前にずらしてください。(車種によって異なります)

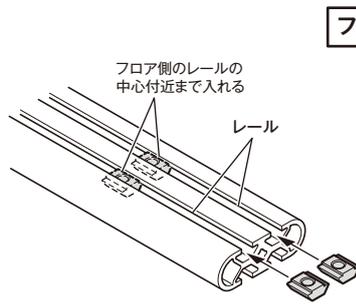
1 ベースバーをジョイントパーツから取りはずし連結ブラケットGを取り付けます。(別紙ベースバー取付説明書[5.ベースバー脱着方法]参照)

※連結ブラケットは、ベースバーのフロア側のレールに取り付けてください。



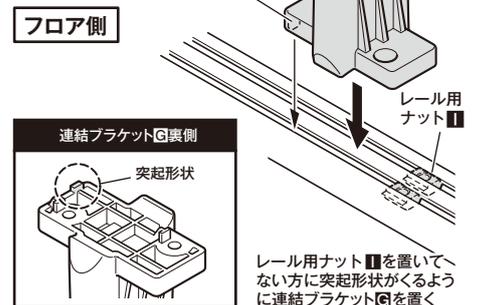
① ベースバーの片側のジョイントパーツグリップのセムス小ネジをプラスドライバーで取りはずします。

 ・取りはずしたセムス小ネジは、なくさないように注意してください。
注 意

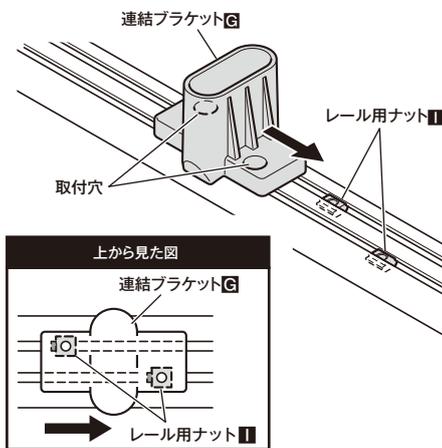


② ベースバーの2箇所のレールにレール用ナットIIを1レールにつき、1個ずつベースバーの中心付近まで入れます。

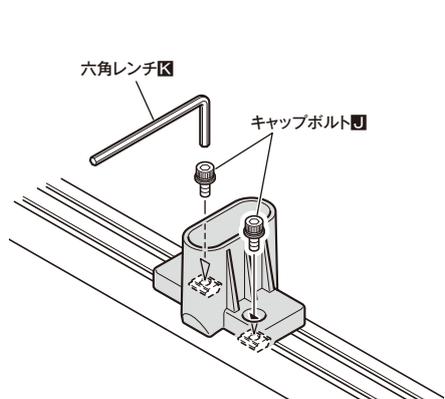
※レール用ナットを入れるレールは必ず車両のフロア側にくる方(ジョイントパーツグリップの四角穴がある方)に入れてください。
※レール用ナットには向きがあります。



③ 連結ブラケットGをベースバーのレールに合わせて置きます。

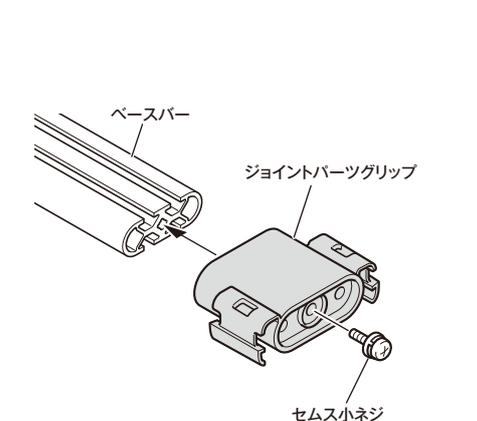


④ 連結ブラケットGを動かすと取付穴位置にレール用ナットII(2個)がセットされます。



⑤ 付属の六角レンチGを使い、キャップボルトII(2箇所)を締めて仮固定をします。

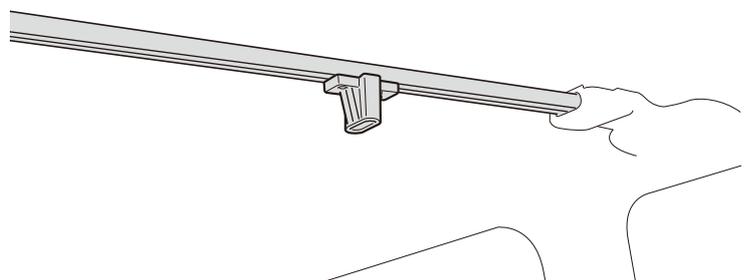
※後から位置調節をしますのでキャップボルトが落ちない程度のゆるさにしてください。



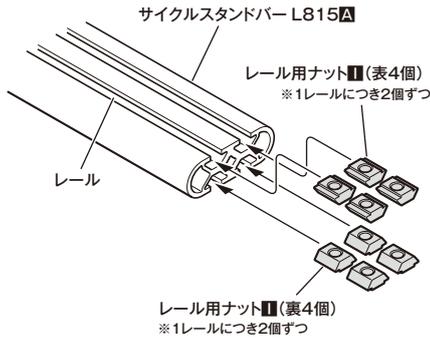
⑥ ①で取りはずしたジョイントパーツグリップを元に戻し、セムス小ネジをプラスドライバーでしっかりと締めたら取付完了です。

2 連結ブラケットGを取り付けたベースバーを車両側のジョイントパーツに装着します。

(別紙ベースバー取付説明書[5.ベースバー脱着方法]参照)

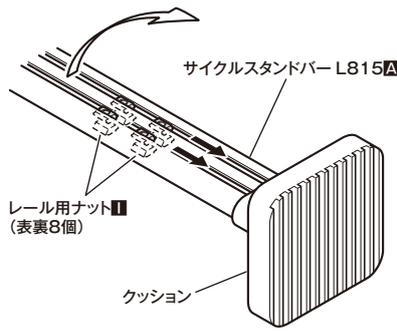


③ バー調節ブラケットを取り付け、サイクルスタンドバーを完成させます。



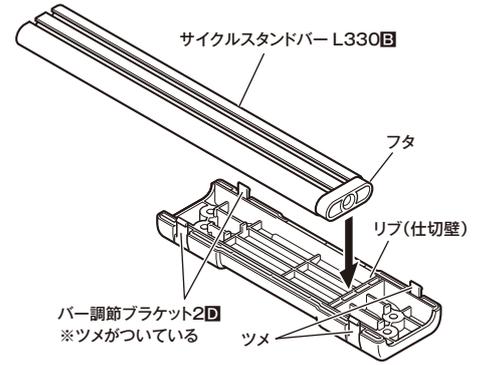
① サイクルスタンドバーL815の表と裏の4箇所のレールにレール用ナット(8個)を1レールにつき、2個ずつ入れます。

※レール用ナットには向きがあります。



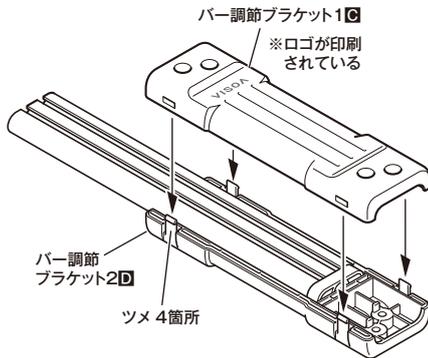
② サイクルスタンドバーL815を持ち上げ、レール用ナット(表裏8個)をクッション側に移動させます。

※①～②の工程で組み付けたものを以降は「L815バー」と表記します。



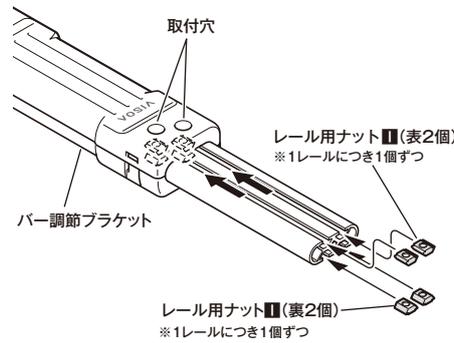
③ サイクルスタンドバーL330を、バー調節ブラケット2回にセットします。

※サイクルスタンドバーL330のフタが付いている側をバー調節ブラケット2のリブ(仕切壁)に当たる場所に入れます。



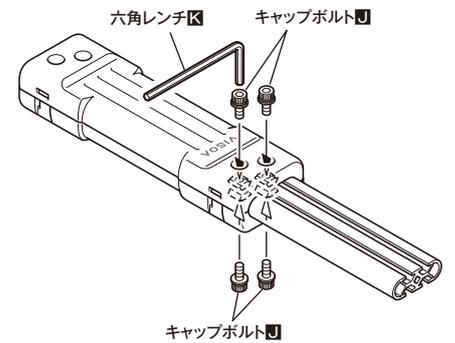
④ バー調節ブラケット1をバー調節ブラケット2に4箇所のツメを掛けながらかぶせて取り付けます。

※必ず4箇所のツメが掛かっていることを確認してください。



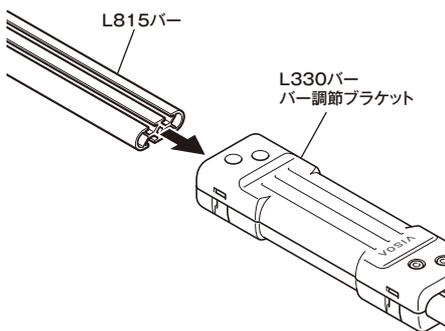
⑤ バー調節ブラケット1を2回に取り付けたサイクルスタンドバーL330の表と裏の4箇所のレールにレール用ナット(4個)を1レールにつき、1個ずつ入れます。

※レール用ナットを入れ、バー調節ブラケット側を下にして立てると取付穴位置にレール用ナットがセットされます。
※レール用ナットには向きがあります。

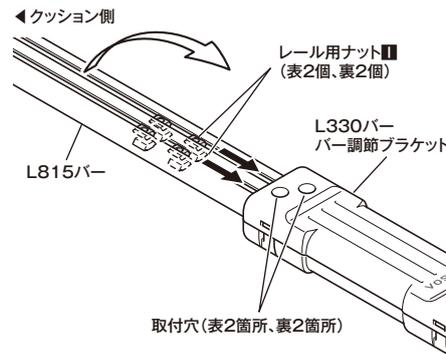


⑥ ⑤でセットされたレール用ナットに付属の六角レンチを使い、キャップボルト(表2箇所、裏2箇所)を締めて仮固定をします。

※後から位置調節をしますのでキャップボルトが落ちない程度のゆるさにしてください。
※取付方法③～⑥の工程で組み付けたものを以降は「L330バー」と表記します。

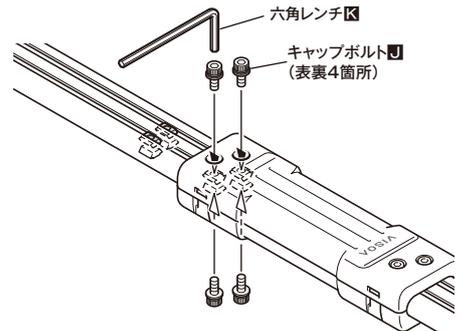


⑦ L330バーのバー調節ブラケットにL815バーを挿し込みます。

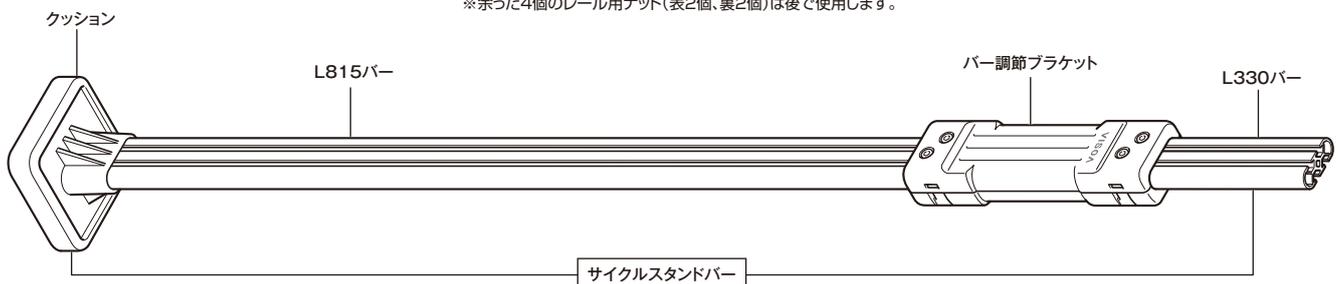


⑧ L815バーのクッション側を持ち上げてL330バーのバー調節ブラケットの取付穴にレール用ナット(4個)を表と裏に2個ずつセットします。

※余った4個のレール用ナット(表2個、裏2個)は後で使用します。



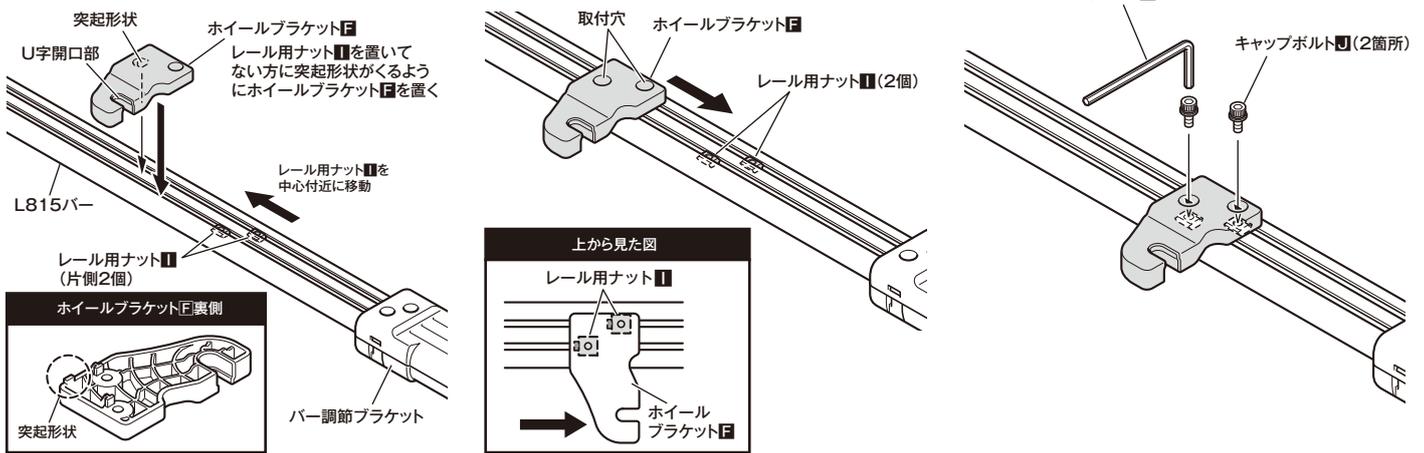
⑨ ⑧でセットしたレール用ナットに付属の六角レンチを使い、キャップボルト(表2箇所、裏2箇所)を最後までしっかりと締めます。



⑩ サイクルスタンドバーの組付完了。

④ サイクルスタンドバーにホイールブラケットを取り付けます。

※ホイールブラケットは表裏どちら側のレールに取り付けてもかまいません。



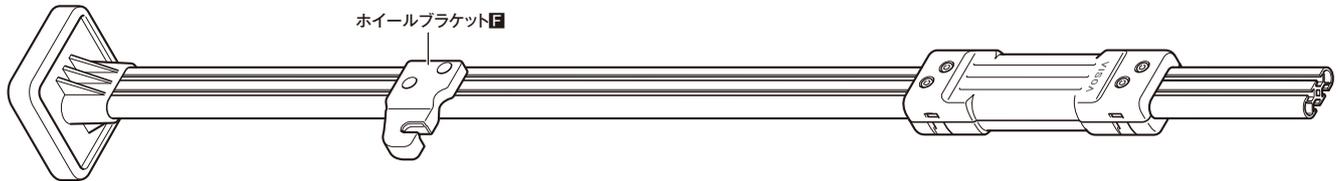
① L815バーに残っているレール用ナット(片側2個)をレールの中心付近に移動させます。ホイールブラケットをU字開口部がバー調節ブラケット側の向きになるようにレールに合わせて取り付けます。

② ホイールブラケットを矢印方向に動かすと、取付穴にレール用ナット(2個)がセットされます。

③ ②でセットしたレール用ナットに付属の六角レンチを使い、キャップボルト(2箇所)を締めて仮固定します。

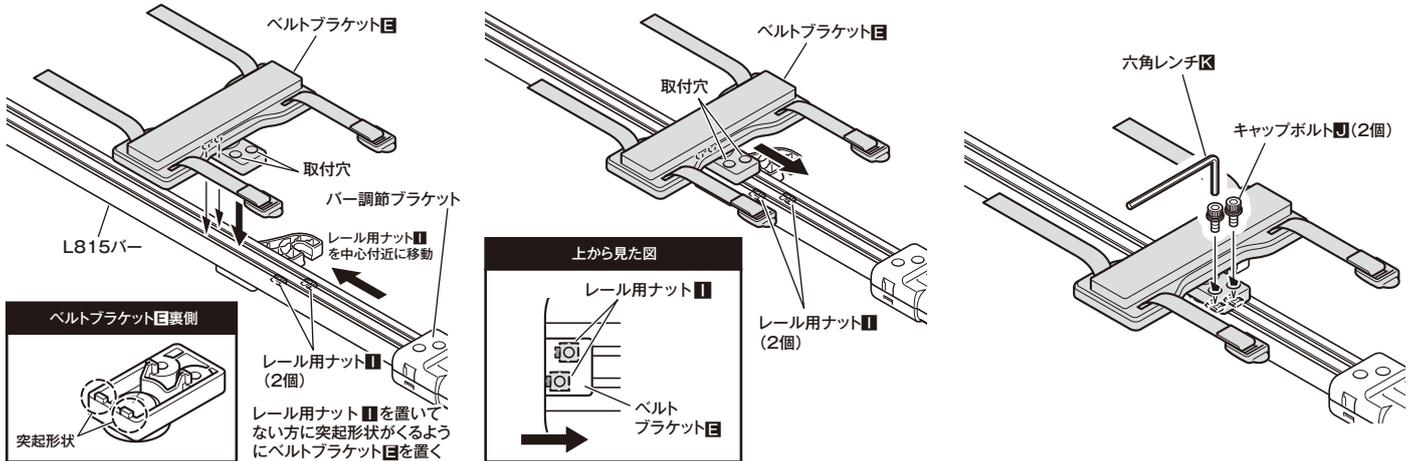
※後から位置調節をしますのでキャップボルトが落ちない程度のゆるさにしてください。

サイクルスタンドバーにホイールブラケットを組み付けたイメージ



④ ホイールブラケットの組付完了。

⑤ サイクルスタンドバーにベルトブラケットを取り付け、サイクルスタンドベースを完成させます。 ※ベルトブラケットはホイールブラケットの反対側のレールに取り付けます。



① ベルトブラケットを取付穴がバー調節ブラケット側になるようにレールに合わせて置きます。L815バーに残っているレール用ナット(片側2個)をレールの中心付近に移動させます。

② ベルトブラケットを矢印方向に動かすと、取付穴にレール用ナット(2個)がセットされます。

③ ②でセットしたレール用ナットに付属の六角レンチを使い、キャップボルト(2箇所)を締めて仮固定します。

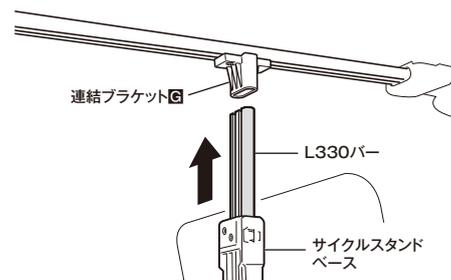
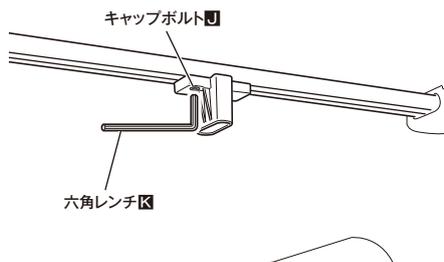
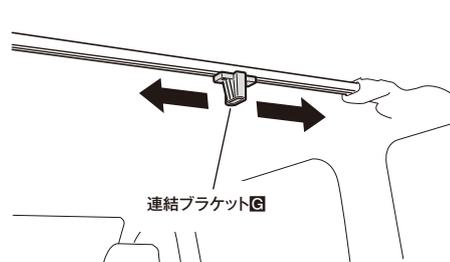
※後から位置調節をしますのでキャップボルトが落ちない程度のゆるさにしてください。

サイクルスタンドベース完成イメージ



④ ベルトブラケットの組付完了。サイクルスタンドベースの完成。

⑥ 車両側に装着してある連結ブラケット④を取り付けたベースバーにサイクルスタンドベースを取り付けます。



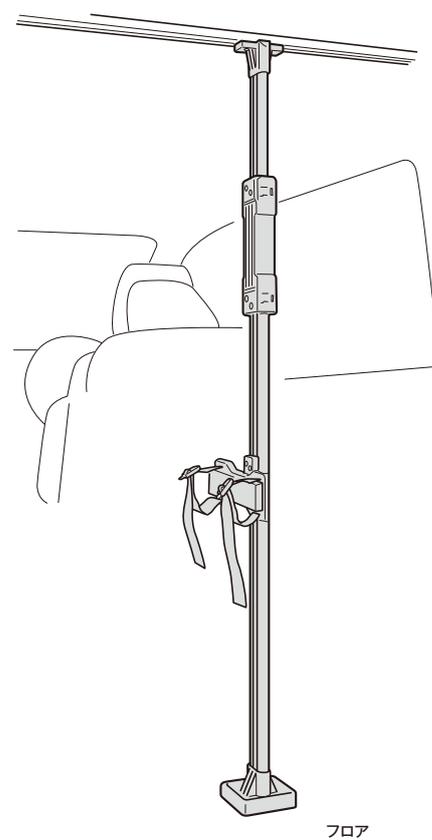
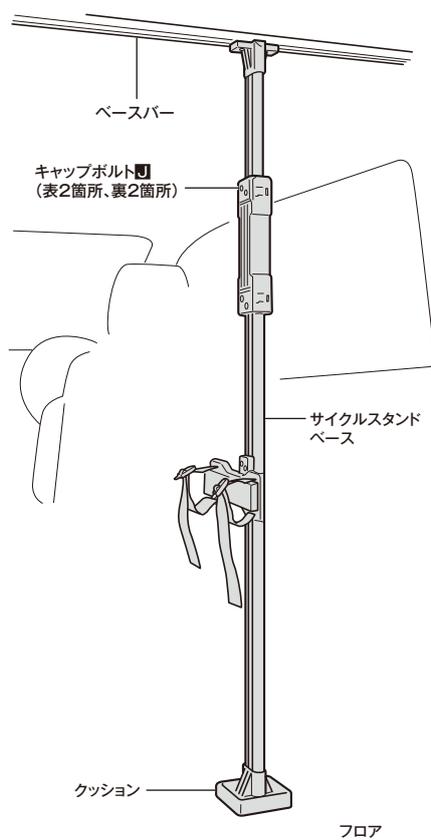
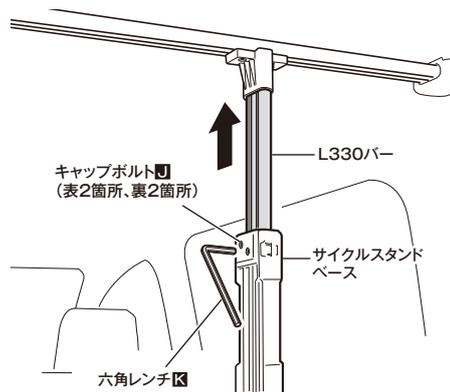
① 連結ブラケット④の位置を決めます。

※使いやすい位置に設定してください。
※ここで決定した位置がスポーツバイク積載位置になります。

② 位置が確定したら付属の六角レンチ④を使い、取付方法①-⑤で仮固定していたキャップボルト④(2個)を最後までしっかりと締め、固定します。

③ サイクルスタンドベースのL330バーを引き上げながら連結ブラケット④に挿し込みセットします。

※挿し込んだ向きによって、ホイール側とフレーム側の位置が決まります。好みの向きに合わせて挿し込んでください。



④ サイクルスタンドベースのクッションをフロアに設置させながら、L330バーのバーのみを引き上げ、軽くつつばらせた状態で、付属の六角レンチ④を使い、取付方法③-⑥で仮固定していたキャップボルト④(表2箇所、裏2箇所)を最後までしっかりと締め、固定します。

⑤ ベースバーにサイクルスタンドベースを固定した後、クッションを軽く前後左右に押し、簡単に動かないか確認してください。動く場合はキャップボルト④(表2箇所、裏2箇所)をゆるめ、再度④の作業を行ない、つつばりをきつくしてください。

※必ずクッションに力をかけた状態でスレないか確認し、しっかりと固定してください。
※クッションはフロアと完全に固定するものではありません。

⑥ サイクルスタンドベースの取付完了です。

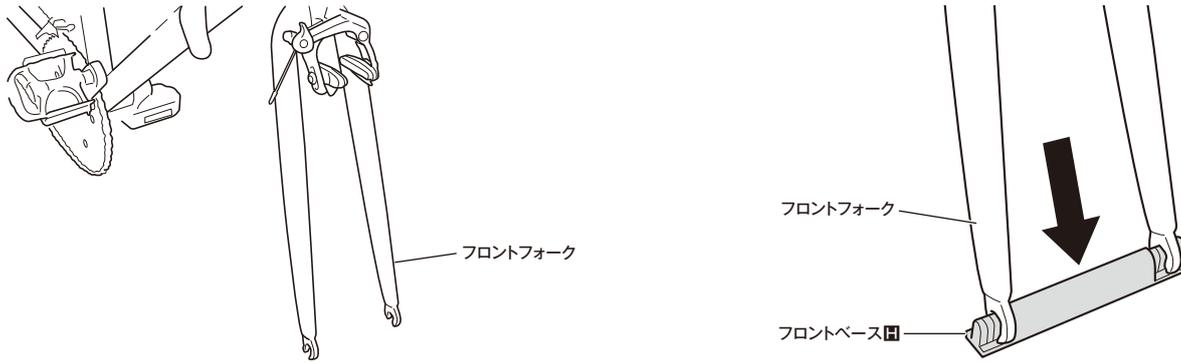
最終取付イメージは裏面にて確認してください。

5. 取りはずし方法

・サイクルスタンドを使用しない時は、取付方法⑥を逆の手順で行ない、サイクルスタンドベースを取りはずしてください。

6. スポーツバイクの積載方法

① フロントフォークにフロントベース☐を取り付けます。



① スポーツバイクのフロントフォークからフロントホイールを取りはずします。

※フロントホイールの取りはずし方法はスポーツバイクの取扱説明書をお読みください。

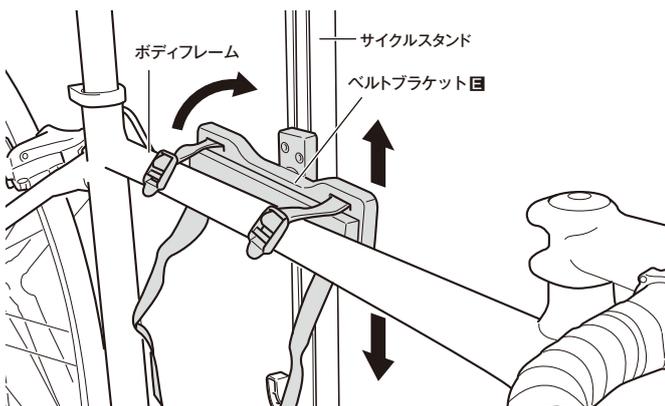
② フロントベース☐にフロントフォークを挿し込み固定します。



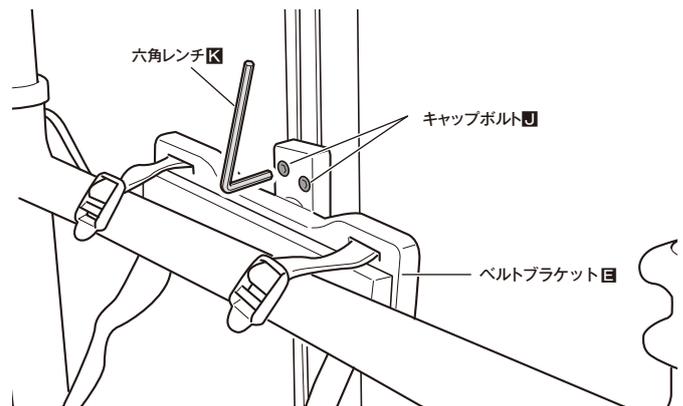
・積載する度に、必ずしっかりと挿し込まれているか確認してください。
・スポーツバイクの種類により固定できない場合があります。

注意

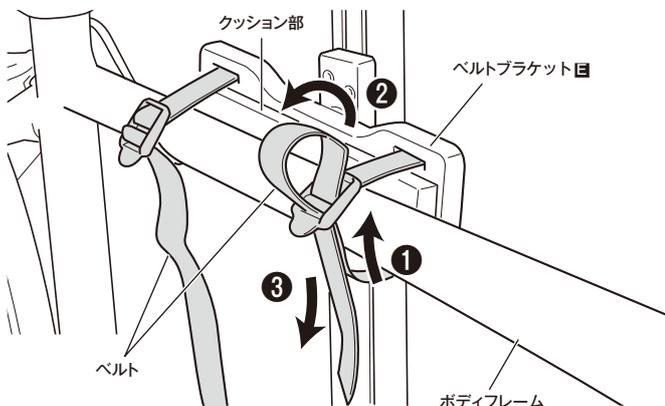
② ボディフレームを固定します。 ※リアゲートを閉めた際に、ハンドル等が当たらない位置に積載してください。



① スポーツバイクの単体をサイクルスタンドの横に置き、ボディフレームに合わせてベルトブラケット☐の高さと角度を調節します。



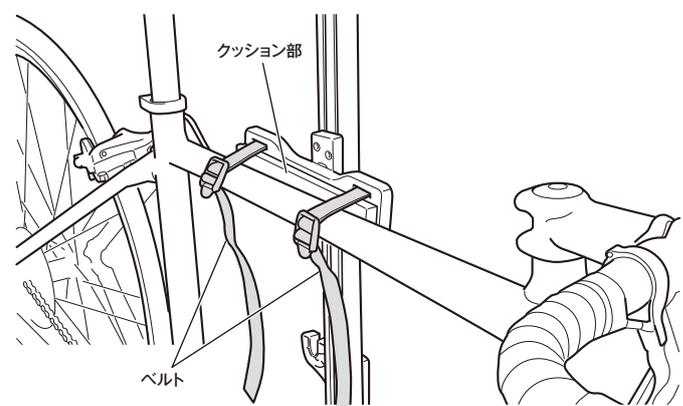
② ベルトブラケット☐の位置が決まったら、付属の六角レンチ☐を使い、取付方法⑤-③の工程で仮固定していたベルトブラケット☐のキャップボルト☐(2箇所)を最後までしっかりと締めます。



③ ボディフレームをベルトブラケット☐のクッション部に押し当て、ベルトで締め込みながら固定します。(2箇所)

⚠ ・ボディフレームとクッション部の間にすき間ができないように、ベルトはしっかりと締めてください。

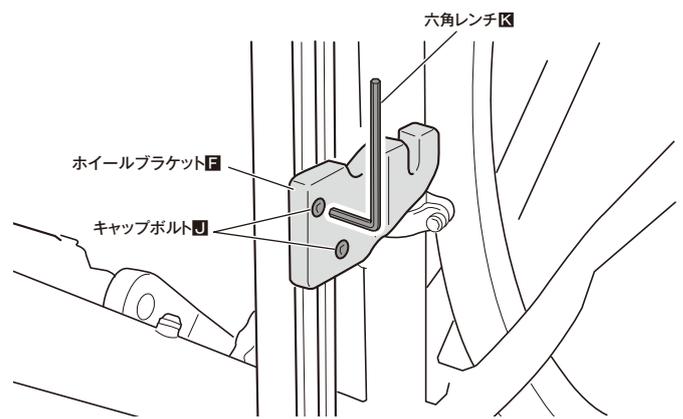
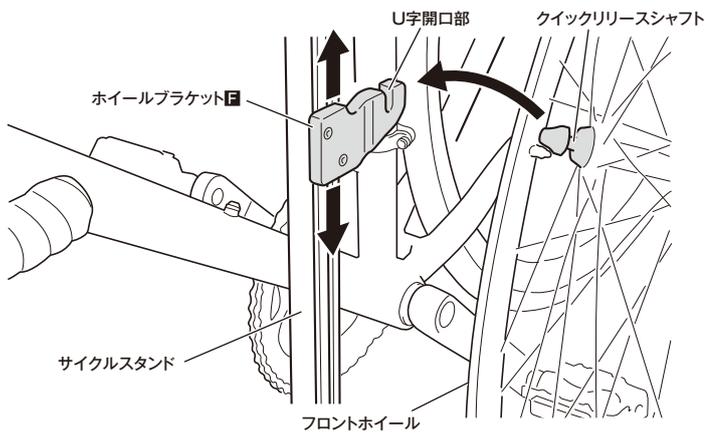
注意 ・ベルトで固定する際に、スポーツバイクに傷が付くおそれがありますので注意してください。
・クッション部とボディフレームが同じ高さで平行になるように調節してください。



④ 再度、ベルトブラケットの位置・角度、ベルトの締め込み具合を確認し、ボディフレームの固定が完了です。

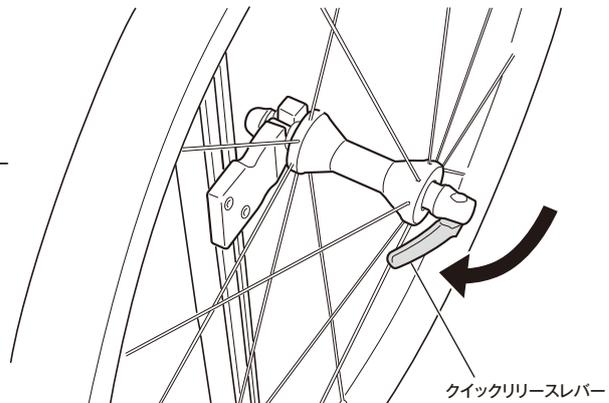
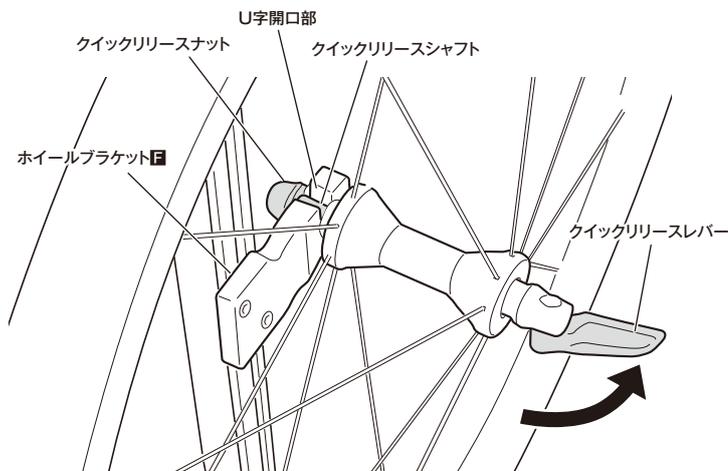
※クッション部のずれや、ベルトのゆるみがある場合は再度①からやり直してください。

③ フロントホイールを固定します。



① フロントホイールをサイクルスタンドの横に置き、U字開口部の位置がフロントホイールのクイックリリースシャフトの位置にくるように、ホイールブラケットの高さを調節します。

② ホイールブラケットの高さの調節後、付属の六角レンチを使い、取付方法4-③の工程で仮固定していたホイールブラケットのキャップボルト(2箇所)を最後までしっかりと締めます。



③ フロントホイールのクイックリリースレバーを開き、クイックリリースシャフトがホイールブラケットのU字開口部に入る程度までクイックリリースナットをゆるめ、クイックリリースシャフトをU字開口部に挿し込みます。

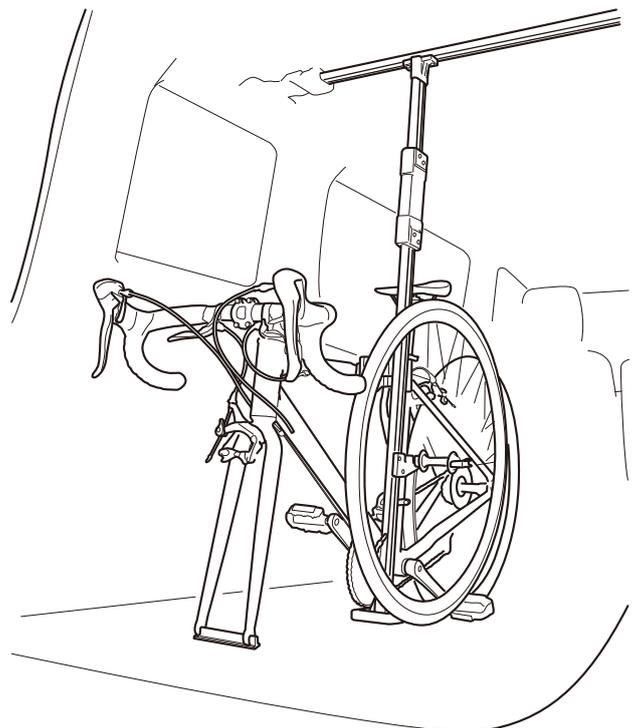
④ クイックリリースレバーをしっかりと締めたら固定完了です。

 積載する度に、必ずしっかりと固定されているか確認してください。
注意

④ 積載完了です。

・固定されたスポーツバイクを軽くゆすって、ゆるみや、締め忘れがないか確認してください。固定がゆるい場合は再度ゆるい箇所を固定し直して、調節してください。

※サイクルスタンドはスポーツバイクを完全に固定するものではありません。



7. お手入れ方法

・本製品が汚れた場合は、水を含ませて固く絞った布で拭いてください。



・ベンジン・シンナー・アルコール・塩素系の溶剤類を使用してお手入れはおやめください。

注意

スポーツバイク積載完了イメージ



※写真はイメージです。

警告 ご使用前に必ずお読みください。

●走行前に必ず、各固定箇所のゆるみ等がないか確認してください。●スポーツバイク以外の物を積載しないでください。●走行中、安全のため絶対に本製品の脱着等はしないでください。

注意 ご使用前に必ずお読みください。

●用途以外の目的で使用しないでください。●本製品は金属を使用していますので、炎天下の車内の熱等により、金属部分が熱くなる場合があります。●リアゲートを閉める際は、ハンドル等が当たらないように注意してください。●本製品にスポーツバイクを積載する際は、非固定装備具(水筒・空気入れ等)をはずしてください。●急発進・急ブレーキ・急ハンドル時は本製品のズレやスポーツバイクの転倒等をおこす場合があります。●急カーブ・悪路・段差の激しい路上を走行する際には、スポーツバイクを本製品からはずしてください。●シートアレンジをする際は、本製品からスポーツバイクをはずしてください。●ベアスバーにぶら下がったり、本製品やスポーツバイクに無理な力を加えたり、強い衝撃を与えないでください。●振動により、本製品やスポーツバイクがズレたり、固定がゆるむ場合があります。乗車の度にしっかりと固定されているか確認してください。●車から離れる際には、スポーツバイクを長時間放置しないでください。スポーツバイクが変形・損傷するおそれがあります。●本製品を取り付けた状態で長時間放置しないでください。車内のフロア等が変形・損傷するおそれがあります。未使用時は車両から取りはずして保管してください。●走行中異常があった場合はただちに使用を中止してください。●本製品には鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。●使用状況や経年変化等により本製品に変色・変形・劣化等が発生する場合があります。



梶屋ヤック株式会社

〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地
TEL 0564-24-2421・FAX 0564-24-2827
URL <https://www.yacjp.co.jp>

商品に関するお問い合わせ先

▶お客様相談室 0564-66-0773(直通)
土日祝・特定日除く 9:30~12:00/13:00~17:30